



# 手をとって

【文責】  
かとう学園 Co  
高田 英也

4月7日の始業式から3ヶ月程が過ぎ、7月20日に、無事に1学期の終業式を迎えることができました。今学期は、体育祭、運動会、プールでの水泳等、学校行事の多くを実施し、GT(ゲスト・ティーチャー)を迎えてのその学年でしかできないことを経験させることができました。地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力に、心から感謝申し上げます。7月21日からは、子どもたちが待ちに待った夏休みになります。地域では、かどコミ宿題Day、河東コミセン「みんなでスポーツを楽しもう」、二丁目小学、池野コミセン「リコーダーレッスン」等、いろいろな取り組みが予定してあります。ぜひ、学校ではできない体験をしてほしいと思います。

## かとうの「たから」たんけん隊!! ～河東西小 3年総合的な学習の時間～

6月13日(火)に、河東西小で、9名の地域GTに来てもらい、かとう学園校区で行われている様々な行事について、3年生の子どもたちがインタビューをしました。この総合的な学習の時間では、地域行事とそれを支える人々について探求していきます。地域GTの方々は、子どもたちのインタビューに、資料をもとにして、ていねいに答えていただきました。



【はじめの会でのGTの紹介】

## ともに生きていく社会を考える!! ～河東小 5年総合的な学習の時間～

7月3日(月)・4日(火)に、河東小で、宗像市社会福祉協議会の方に来てもらい「車椅子体験」が行われました。この学習を通し、子どもたちは、車椅子で生活することの大変さを実感し、足の不自由な方の生活を想像することができました。体の不自由な方の生活や気持ちを理解し、「ともに生きていく社会とは」「自分たちができることは何か」を考えました。



【社会福祉協議会の方の講習】

## 子ども主体の授業とは? ～かとう学園 授業研修会～

6月27日(火)に、河東西小を会場にかとう学園授業研修会が実施されました。かとう学園の教職員が、提案授業の参観・協議を通して、学び方・授業づくりの在り方等について共通確認を行い、日々の授業力向上を図ることを目的としています。子どもたちが学びに熱中することができるように資料や発問を工夫したり、自己調整をすることができるように学びの内容や方法、活用について工夫された授業が展開されました。授業後、「対話活動と振り返りの工夫を通して」をテーマに授業協議会があり、講師の先生より指導・助言がありました。実り多い授業研修会になりました。



【授業後の協議会の様子】



## 中学校生徒会と小学校6年生の交流 ～かとう学園 第1回かとうドリカムプロジェクト～

6月29日(木)に、かとうドリカムプロジェクトを実施しました。このプロジェクトは年4回計画されています。第1回目は中学生生徒会と6年生がオンラインで交流しました。小学校から中学生生徒会への質疑応答、中学生生徒会のスローガン発表、一学期の取組の説明がありました。小学生は、中学生生徒会と交流することで、中学校への期待を持つことができたのではないのでしょうか。



【河東中生徒会活動の説明】

## 7月は宗像市人権啓発強化月間!!

### ～河東中 ボランティア活動～

7月3日(月)に、河東中49名の9年生が、サンリブ、マックスバリュ、ルミエールの3ヶ所に分かれて、街頭啓発ビラ配りに協力しました。7月は宗像市の同和問題啓発強化月間で、全ての人の人権が尊重される社会を築くために、宗像市の職員の方々と一緒に街頭啓発ができました。



【街頭啓発ビラ配りの様子】